平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名　神鋼商事株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8075　URL　http://www.shinsho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村瀬　敬一
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 阿野　健二郎　TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　平成25年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	412,177	3.8	2,494	0.7	2,215	1.0	1,006	210.0
25年3月期第2四半期	397,095	△11.2	2,477	△23.5	2,194	△21.1	324	△79.7

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　3,196百万円　(—%)　25年3月期第2四半期　△556百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.36	—
25年3月期第2四半期	3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	211,598	34,624	15.4
25年3月期	214,206	31,479	13.9

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　32,550百万円　25年3月期　29,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	10.4	5,800	6.3	5,300	9.1	2,900	54.2	32.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	88,605,625 株	25年3月期	88,605,625 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	54,275 株	25年3月期	54,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	88,551,420 株	25年3月期2Q	88,551,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　経営成績に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　財政状態に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・ 6
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記） ・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ・・・・ 8
（セグメント情報） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済･金融政策を背景に、円安・株高が進行し、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどから、緩やかな回復基調となりました。海外では、欧米各国の財政問題や新興国の景気減速など、海外景気の下振れ懸念もあり、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループはメキシコにおいて日系自動車部品メーカーの素材調達に対応することを目的に現地法人を設立しました。また、インド・チェンナイ市近郊において建設機械向け鉄鋼厚板加工工場を稼動させるなど、グローバルビジネス展開の基盤拡充を図ってまいりました。

業績につきましては、粗鋼生産の増加や主要需要家である自動車業界、建設業界等に回復の動きがみられるなど、鉄鋼セグメントおよび非鉄金属セグメントを中心に堅調に推移した結果、売上高は4,121億77百万円（前年同四半期比3.8％増）、営業利益は24億94百万円（同0.7％増）、経常利益は22億15百万円（同1.0％増）、四半期純利益は10億6百万円（同210.0％増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

輸出環境の改善や自動車業界等の好調を受け、鋼板製品、線材製品ともに国内の取扱量が増加し、輸出も増加しましたが、線材製品は国内向け価格が下落しました。棒鋼製品は主として国内需要の増加により取扱量が増加しました。海外においてはアメリカ、タイを中心に堅調な需要に支えられ、総じて業績は好調に推移しました。

この結果、売上高は1,345億84百万円（前年同四半期比5.3％増）、セグメント利益は14億4百万円（同6.2％増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

粗鋼生産量の回復により輸入鉄鋼原料やスラグの取扱量が増加しました。合金鉄も取扱量が増加しましたが、チタン原料および冷鉄源は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,671億33百万円（前年同四半期比6.3％増）、セグメント利益は4億74百万円（同40.6％増）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は半導体向けリードフレームの取扱量が減少しましたが、自動車向け端子材および空調向け銅管の取扱量は増加しました。アルミ製品は鉄道車両向け等の取扱量が増加しました。非鉄原料は銅地金およびアルミスクラップの取扱量が増加しました。

この結果、売上高は866億76百万円（前年同四半期比4.1％増）、セグメント利益は3億6百万円（同107.2％増）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は汎用圧縮機、タイヤ機械等の取扱いは増加したものの、大型案件の減少により全体の取扱いは減少しました。情報関連商品はタッチパネル用電子材料の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は284億89百万円（前年同四半期比4.6％減）、セグメント損失は72百万円（前年同四半期は18百万円の利益）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は建設鉄骨や自動車向けの取扱量は増加しましたが、造船向けが減少し、アジア向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は建設機械や造船向けの取扱いが減少しました。生産材料の取扱量も減少しました。

この結果、売上高は170億1百万円（前年同四半期比18.5％減）、セグメント利益は52百万円（同81.3％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は2,115億98百万円となり、前連結会計年度末比26億7百万円の減少となりました。これは投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券の増加があったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少が上回ったことによるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は1,769億73百万円となり、前連結会計年度末比57億53百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は346億24百万円となり、前連結会計年度末比31億45百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加および為替換算調整勘定の改善によりその他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年９月13日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,535	15,085
受取手形及び売掛金	130,101	128,250
商品及び製品	21,752	21,444
仕掛品	272	285
原材料及び貯蔵品	405	451
前払金	7,261	6,231
繰延税金資産	666	791
その他	2,888	2,969
貸倒引当金	△225	△246
流動資産合計	181,659	175,263
固定資産		
有形固定資産	5,235	6,484
無形固定資産	1,551	1,467
投資その他の資産		
その他	26,055	28,580
貸倒引当金	△294	△198
投資その他の資産合計	25,760	28,382
固定資産合計	32,547	36,335
資産合計	214,206	211,598
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,728	109,372
短期借入金	25,872	26,180
未払法人税等	497	891
賞与引当金	737	833
その他	14,597	13,382
流動負債合計	157,432	150,660
固定負債		
長期借入金	23,402	24,017
退職給付引当金	602	636
役員退職慰労引当金	34	36
その他	1,256	1,622
固定負債合計	25,294	26,313
負債合計	182,727	176,973

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	22,844	23,585
自己株式	△17	△17
株主資本合計	31,181	31,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705	1,484
繰延ヘッジ損益	43	19
為替換算調整勘定	△2,191	△874
その他の包括利益累計額合計	△1,442	628
少数株主持分	1,740	2,074
純資産合計	31,479	34,624
負債純資産合計	214,206	211,598

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	397,095	412,177
売上原価	386,129	400,920
売上総利益	10,965	11,256
販売費及び一般管理費	8,488	8,762
営業利益	2,477	2,494
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	241	330
持分法による投資利益	89	155
デリバティブ評価益	315	481
雑収入	197	190
営業外収益合計	866	1,188
営業外費用		
支払利息	314	305
売掛債権譲渡損	368	358
為替差損	305	621
雑損失	162	181
営業外費用合計	1,150	1,466
経常利益	2,194	2,215
特別利益		
会員権売却益	5	－
特別利益合計	5	－
特別損失		
減損損失	331	－
投資有価証券評価損	3	9
出資金評価損	－	58
会員権評価損	7	4
特別損失合計	341	72
税金等調整前四半期純利益	1,857	2,143
法人税、住民税及び事業税	934	1,074
過年度法人税等	607	－
法人税等調整額	△25	62
法人税等合計	1,516	1,136
少数株主損益調整前四半期純利益	340	1,006
少数株主利益	16	0
四半期純利益	324	1,006

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	340	1,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,077	767
繰延ヘッジ損益	35	△24
為替換算調整勘定	105	1,256
持分法適用会社に対する持分相当額	39	190
その他の包括利益合計	△896	2,189
四半期包括利益	△556	3,196
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△561	3,077
少数株主に係る四半期包括利益	5	118

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	127,788	157,172	83,252	29,862	20,864	418,939	186	△22,030	397,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1	－	－	1	－	△1	－
計	127,788	157,172	83,254	29,862	20,864	418,941	186	△22,032	397,095
セグメント利益	1,322	337	147	18	280	2,106	26	61	2,194

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	134,584	167,133	86,676	28,489	17,001	433,884	186	△21,893	412,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	－	－	0	－	△0	－
計	134,584	167,133	86,676	28,489	17,001	433,884	186	△21,894	412,177
セグメント利益又は損失（△）	1,404	474	306	△72	52	2,165	25	24	2,215

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。